

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月6日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	見附市	代表者名	久住 時男
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	0258-62-1700
担当者役職		担当者氏名	
住所	954-8686 新潟県見附市昭和町2丁目1番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	千葉 大右
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	経験に基づいた意見を聞くことができ、たいへん参考にすることができた。御本人も情報部門に在籍してシステム処理業務に従事していた期間が長く、情報部門職員がおかれている状況や背景も共感することができ、率直な意見交換が行えた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年12月2日	13時30分	15時50分	10	130
3-2. 派遣場所	会場名	見附市役所	最寄駅	見附駅	
	所在地	新潟県見附市昭和町2丁目1番1号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩、車(バス・タクシー)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	98人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	全庁的に展開、運用するに当たり、どのような体制、手順で行っていかばいいか苦慮している。また、職員の認識や意識改革も課題と考えている。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	実際のシナリオ作成については業務所管課の協力が必要なため、対象職員に講演を行うことでRPAへのモチベーションを高め、RPAの知識、理解を深めることによりスムーズにシナリオ作成作業を行える環境としたい。 また、中心となって全庁内への推進を行う職員に対しては、疑問点や不明瞭な点について聞いていただき、対応案や参考事例などをご教授いただきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	船橋市におけるRPA及びAI-OCRの実証実験について報告書に基づき全職員を対象に説明をいただいた。 その後、中心となって推進を行なうメンバーを交えて、疑問点や運用にあたる際のポイント等についてディスカッションを行った。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	RPAツールの特徴、シナリオ作成やその後の運用について、販売を行う業者のデモや説明ではなく、実際に使用したユーザーからの視点として意見を聞けたことは、とても貴重な機会だった。様々な情報を収集するにしても、講演やセミナーといったかたちではなくディスカッションというかたちで相互に意見を交えることができ、今後導入を検討するにあたり、具体的に動いていく方向性を職員間で共有できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	船橋市と当市では導入経緯や、部署の規模、組織の形態が異なるため、そのまま当市にあてはまらない状況もある。例えば、船橋市の場合、RPA導入については現場職員からの要望により導入が図られたため、職員の意欲がもともと高いところからのスタートとなったが、当市はトップダウンによる意図が大きく、現場の意欲を高めるところから始める必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 感想、理解度は、5段階評価の1、2合計がそれぞれ66.3%、58.4%であり、概ね高評価であった。年齢別では若い方が評価が高い傾向があり、新しい技術に対して柔軟であり、RPAに適した単純作業に実際に従事している職員が多いからではないか、と分析している。	
5-3. 今後の計画 事業の最終的な目指す姿	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する RPAツールを導入(トライアル運用)し、適用可能な業務についてシナリオ作成、稼働を図る。

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

